

## 令和2年度木津川市一般会計補正予算 第7号について（概要）

総務部財政課

令和2年度補正予算第7号は、観光庁が公募した実証事業に採択された本市提案の事業費の新規計上と、新型コロナウイルス感染症の影響により法人市民税の還付実績増加等によって予算不足が生じている過誤納還付金の増額を行うものである。

### 予算案の主な概要

#### 1 補正予算の規模

補正前 377億3,503万5,000円

補正額 2,530万1,000円（0.067%増）

補正後 377億6,033万6,000円

#### 2 補正予算の内容

##### ○現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費

20,201,000円皆増

観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業の事業採択をうけ、新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応し、観光イベント・観光資源をより安全で集客力の高いものへと磨き上げる取組みを行う。

##### ○過誤納還付金

5,100,000円増

固定資産税や法人住民税の還付実績増加による。

令和2年度 木津川市一般会計補正予算第7号【概要】

既 定 予 算 額	37,735,035千円
補 正 予 算 額	25,301千円
補 正 後 予 算 額	37,760,336千円

歳 入

款	概 要		
15 国 庫 支 出 金	商 工 費 委 託 金	20,000千円	誘客多角化等実証調査国庫委託金:20,000千円皆増
20 繰 越 金	繰 越 金	5,300千円	前年度繰越金:5,300千円増(5,301千円)
21 諸 収 入	雑 入	1千円	文化財の宝庫磨き上げ事業入場料:1千円皆増

(単位:千円)

科 目	款	項	目
所 事	記載例		
市 総 合 計 ( 基 本 計 の 位 置 付 け )			
事 業 期 間	新規・継続		
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府 市債 その他 一般財源
補 正 前			
補 正 額			
補 正 後			
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、( )内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を( )内に記載しています。		
主 な 特 定 財 源			
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。  (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)		
市 民 参 加 の 状 況			
将 来 に わ た る 効 果 等			

科 目	款	総務費	項	徴税費	目	賦課費
所 管	総務部 税務課					
事 業	441	課税事務事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策③財政基盤の確立					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	66,584					4,974 61,610
補 正 額	5,100					5,100
補 正 後	71,684					4,974 66,710
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	過誤納還付金:5,100千円増(32,600千円) ※固定資産税や法人市民税の還付実績増加による。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	課税の適正化と公平化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	商工費	項	商工費	目	観光費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	3791	現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野8 観光交流 施策①観光振興					
事 業 期 間	令和2年度から			新規・継続		新規
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前						
補 正 額	20,201		20,000			1 200
補 正 後	20,201		20,000			1 200
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:201千円皆増、観光誘客促進事業委託料:20,000千円皆増 ※観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業に採択されたことによる。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した着地整備と、観光イベント・観光資源をより安全で集客力の高いものへと磨き上げる取組みを行う。恭仁宮跡を舞台とした古典芸能と現代アートのコラボレーションライブや、海住山寺・神童寺・岩船寺のライトアップ等により、文化財の宝庫である本市の魅力を広く発信する。					
主 な 特 定 財 源	誘客多角化等実証調査国庫委託金:20,000千円 文化財の宝庫磨き上げ事業入場料:1千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した着地整備を行うことが求められることから、観光イベントや観光資源を安全で集客力の高いものへと磨き上げることを目的とした、観光庁の委託により実施する実証事業。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	誰もが安心して本市を訪れることができ、観光を楽しむことができる。					